

2020(令和二)年度 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：高所における大気中形態別水銀の変動及び湿性沈着量に関するモニタリング調査 英文：Atmospheric mercury speciation dynamics and mercury wet deposition monitoring at the high-altitude
研究代表者	環境省大臣官房環境保健部環境保健企画管理課水銀対策室 主査 黒田一樹
参加研究者	環境省大臣官房環境保健部環境保健企画管理課水銀対策室 室長 須田恵理子 環境省大臣官房環境保健部環境保健企画管理課水銀対策室 環境技官 小塚翔平 国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター センター長 鈴木規之
研究成果概要	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、宇宙線研究所の開所が遅くなり、閉所も早まることとなったため、測定の実施は断念し、次年度に向けて機材設置予定である共同利用室の清掃を行い、水銀濃度が観測に影響ない程度であることを確認するとともに、ブランク濃度を低いレベルで維持できるように対策を実施した。</p> <p>その結果、共同利用室からは屋外よりも高い濃度の水銀が検出されたが、簡易のクリーンブースを設置する事で観測可能であることが確認された。</p> <p>次年度は上記対策の上、高所における大気中形態別水銀の変動及び湿性沈着量に関するモニタリング調査を実施予定である。</p>
整理番号	D10